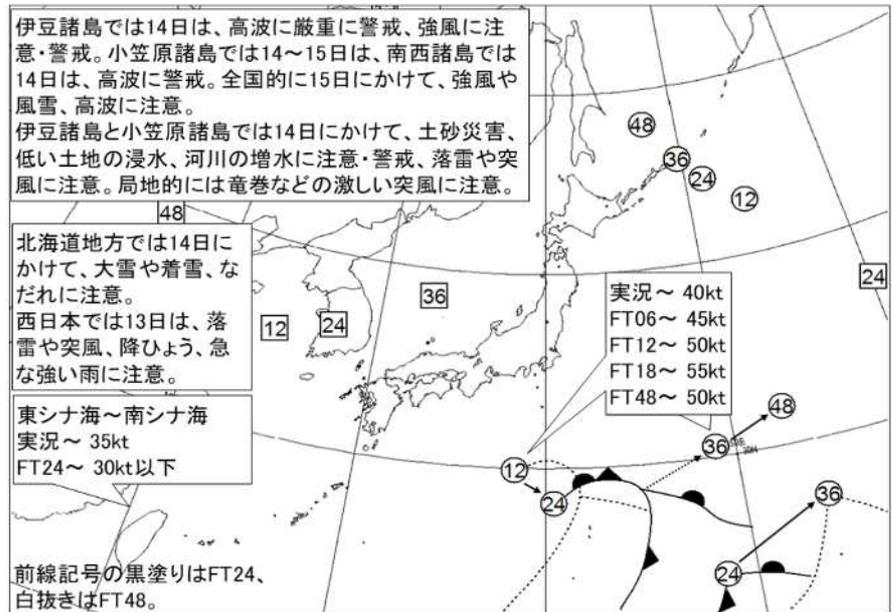


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5520m付近のトラフに対応する前線を伴った低気圧が日本の南にあって、発達しながら東進。日本の南では雷を検知。
- ② 500hPa 5400m付近の寒冷渦に対応する低気圧が日本の東にあって、ゆっくり北東進。北海道オホーツク海側を中心に3時間に5～10cmの降雪を観測。
- ③ 500hPa 5400m付近で-36℃以下の寒気を伴う寒冷渦が日本海を南下。西日本では雷を検知。
- ④ ①・②の低気圧周辺及び低気圧と大陸の高気圧の間で気圧の傾きが大きくなっており、全国的に強い風が吹き、波が高くしている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、トラフに対応しさらに発達しながら東進、14日は最大風速55kt[SW]となる。前線や低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風や局地的には非常に強い風が吹き、波が高く猛烈なしけとなる所がある。伊豆諸島では14日は、高波に厳重に警戒し、強風に注意・警戒。小笠原諸島では14日～15日は、南西諸島では14日は、高波に警戒。また、前線や低気圧に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。伊豆諸島と小笠原諸島では14日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項②の低気圧は北西進し、14日は千島近海へ進む。低気圧周辺の湿った空気と寒気の影響で降雪が続き、大雪となる所がある。北海道地方では14日にかけて、大雪や着雪、なだれに注意。
- ③ 1項③の寒冷渦は、13日夜までに西日本付近へ進み不明瞭になるが、上空寒気の影響で大気の状態が不安定となる所がある。西日本では13日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ④ 2項①・②の前線や低気圧と、日本海および黄海に中心を持つ高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き波が高くしける所がある。全国的に15日にかけて、強風や高波に注意。北日本では風雪にも注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(18時からの24時間)：伊豆諸島100mm。
- ② 降雪量(18時からの24時間)：北海道30cm。
- ③ 波浪(明日まで)：伊豆諸島9、小笠原諸島8、沖縄6、東北・関東・奄美5、その他3～4m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。